

登録コード	MA780100	開講年度	2026				
授業科目名	生活支援作業療法学特論					担当教員	上村 智子 他
英文授業名	Special Lectures in Occupational Therapy Focused on Activities of Daily Living					副担当	務臺 均・佐賀里 昭・佐藤 正彬・岩波 潤
単位数	2	講義期間	後期	曜日・時限	木曜・6時限	対象専攻／学年	作業療法学領域／1年次
講義室	保健学科111講義室			授業形態	講義	授業科目区分	選択科目
信大コンピテンシー	該当						
(1)授業の達成目標	【ディプロマ・ポリシー】授業で得られる「学位授与の方針」要素					⇔	
	MS26カリ(保健学), MS25カリ(保健学), MS24カリ(保健学), MS23カリ(保健学)						
	【保健学】高い倫理観と専門的知識や技術、科学的根拠に基づく臨床問題解決能力などの高度な実践能力を有する。					⇔	心身機能に障害のある人の生活を支える作業療法実践について、具体的事例を示してEBPにそった説明ができる
(2)授業の概要	心身機能に障害のある人の生活を支える作業療法の実践と研究について学術的に探求する。 授業では、脳卒中や循環器疾患の患者やがんサバイバーのための生活支援に焦点を当てた作業療法のトピック、および住環境や支援機器を活用した支援を取り上げ、EBPにそった生活支援プログラムについて学習する。 さらに、作業療法実践の科学的エビデンス構築のための基礎研究の手法についても学習する。 本授業は、担当教員の保健・医療機関における作業療法士としての実務経験を活かして講義を行います。本授業は、男女共同参画に関する内容を含んでいます。						
(3)達成目標（一般学習目標GIO）	心身機能に障害のある人の在宅生活継続支援に焦点を当てた作業療法を取り上げ、EBPにそった実践について理解を深める。また、高齢者の在宅生活継続支援の視点から、入院プログラムや地域プログラムを考究する。さらに、EBP構築に資する生体計測を用いた基礎研究手法についても理解する。						
(4)達成目標（個別行動目標SBOs）	・脳卒中後の精神症状や疲労の実態に合わせた支援方法について説明できる ・循環器疾患の病態に合わせた支援方法について説明できる ・住まいのハザード評価を活用した支援方法について説明できる ・認知機能を補う支援機器の開発や活用に関する状況について説明できる ・統合失調症の標準的薬物療法について、説明できる ・がんサバイバーに対する作業療法士の役割を説明できる ・作業療法基礎研究で用いる生体計測機器の特徴と研究のねらいを説明できる						
(5)授業計画	開講日時は受講学生と検討のうえ決定する 第1回 住まいのハザード評価の活用1（上村） 第2回 " 2（上村） 第3回 認知機能を補う機器の開発と活用1（上村） 第4回 " 2（上村） 第5回 循環器疾患患者に対する作業療法1（佐藤） 第6回 " 2（佐藤） 第7回 脳卒中後の疲労1（務台） 第8回 " 2（務台） 第9回 脳卒中後に出現する精神症状1（務台） 第10回 " 2（務台） 第11回 がんサバイバーに対する作業療法1（佐賀里） 第12回 " 2（佐賀里） 第13回 作業療法基礎研究の理解とその応用（佐賀里） 第14回 作業療法研究の最先端1（岩波） 第15回 " 2（岩波）						
(6)授業の進め方	授業は、遠隔授業で行い、オンラインのライブ形式の講義、もしくは、学生のプレゼンテーションとディスカッション形式で進めます。 また、各単元の最初に提示する課題を実施していただきます。 ライブ配信するズームのURL、講義資料を事前にeALPSに掲載しますので、準備をお願いします。						
(7)履修上の注意・事前事後学習の内容	【事後学習】单元ごとに、まとめを作成して、その内容を反映して、单元ごとの課題を実施してください。 【履修上の注意】web会議システムによる遠隔授業を行う場合は、事前にアクセスID／パスワードを通知します。また、質問には、メールで対応します。						
(8)成績評価の方法	課題レポート（90点満点）と授業での積極的な発言（10点満点）に基づいて総合的に成績を評価し、総得点の60パーセント以上を合格とします。						
(9)成績評価の基準	課題レポートの評価基準は、(i) 問題の設定が適切であり、(ii) その問題の背景を説明できており、(iii) その問題にどのような課題があるのかを指摘できており、(iv) それらの課題に対して既存の学説が提示する解決法が適切に把握できており、(v) その上で自分の見解を提示できており、かつ、教員を感じさせるレベルにあれば「卓越している：90点」。(i) から (v)の5項目を満たしていれば「かなり上にある：80点」。4項目までできていれば「やや上にある：70点」。3項目までできていれば「水準にある：60点」とする。 授業での積極的発言については、4名の担当教員が、各々、非常に積極的：10点、やや積極的：8点、積極的でも消極的でもない：6点、やや消極的4点、消極的2点で評価し、平均点を得点とする。						
(10)学生へのメッセージ並びに質問、相談への対応	質問・相談は、随時、メールにて受け付け、積極的に対応します。 履修希望者は、事前に連絡してください。 開講日については、別途、連絡します。						

(10)学生へのメッセージ並びに質問、相談への対応	オフィスアワー 上村：木曜日12時～13時 中校舎4階 上村研究室（事前にメールにてご連絡ください） tkamimu@shinshu-u.ac.jp 務台：随時 南校舎2階 務台研究室（事前にメールにてご連絡ください） hitmutai@shinshu-u.ac.jp 佐賀里：随時 南校舎2階 佐賀里研究室（事前にメールにてご連絡ください） sagaria@shinshu-u.ac.jp 岩波：随時 南校舎2階 岩波研究室（事前にメールにてご連絡ください） iwanami@shinshu-u.ac.jp 佐藤：随時 南校舎2階 助手・助教研究室（事前にメールにてご連絡ください） msato1413@shinshu-u.ac.jp
【テキスト，教材，参考書】	資料を配布します。 参考書は，授業で紹介します。